

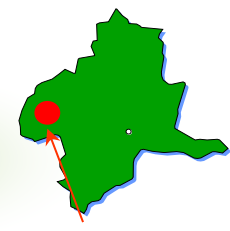
どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

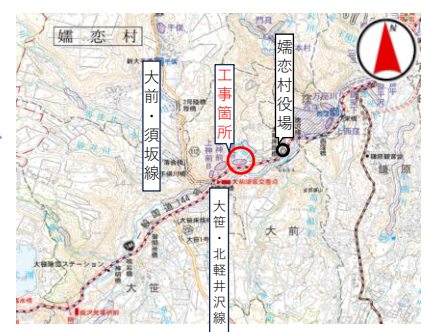
防護柵と擁壁と法枠をつくれます

地元の声

・斜面からの倒木や落石の危険があるため対策を行ってほしい。(地元住民)



事業位置
婦恋村



- 事業の概要
- 事業箇所: 婦恋村大前
 - 事業内容: 防護柵工L=36.0m、擁壁工L=32.1m、法枠工 A=119.9m²
 - 事業期間: 平成29年度～

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

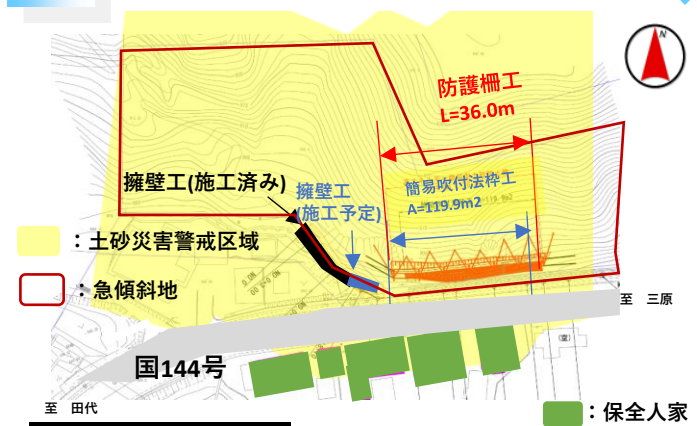
事業後

◆ 防護柵・擁壁・法枠をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

R7年度は防護柵の設置工事を行います。



成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	5戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1路線 (国道145号)

実施後(目標)
0戸
0路線

事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了